

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり15.91人の報告があり、昨年夏のピーク(第36週:定点当たり14.89人)を上回りました。手洗い、換気、医療機関や混雑した電車・バスでのマスク着用など、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。また、体調がすぐれないときは、周囲にも配慮して休養をとりましょう。

2 インフルエンザ

定点当たり25.97人の報告があり、前週の約1.6倍に増加しました。インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告が62件あり、1週間の報告数では今シーズン最多となりました。手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

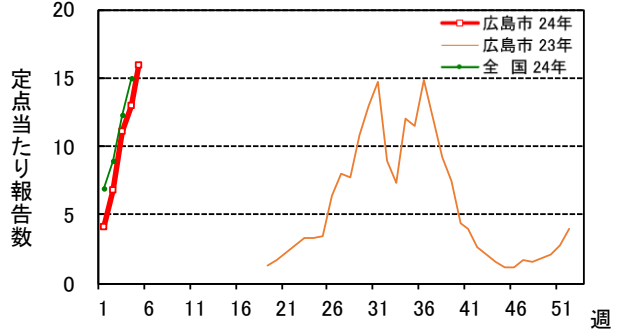
3 感染性胃腸炎

定点当たり11.77人の報告があり、多い状況が続いています。集団発生も報告されており、保育園や学校、福祉施設など集団生活の場では特に注意が必要です。

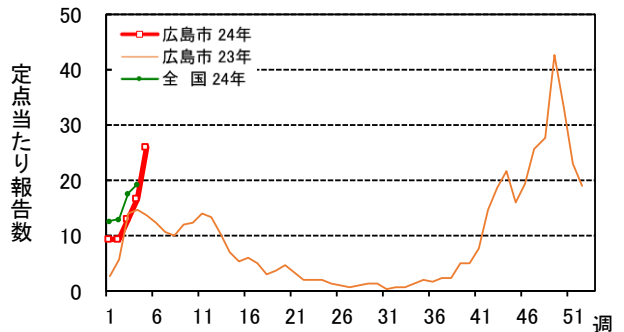
4 咽頭結膜熱

定点当たり2.41人の報告があり、例年のピーク時を上回る状況が続いています。手洗いの励行、タオルの共用は避けるなど、感染予防対策を徹底しましょう。

新型コロナウイルス感染症の流行状況



インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	909	25.97	13.49	↑	小児科	ヘルパンギーナ	1	0.05	0.08	
	新型コロナ(COVID-19)	557	15.91		□		流行性耳下腺炎	1	0.05	0.05	
小児科	RSウイルス感染症	7	0.32	0.18		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	53	2.41	0.34	→		流行性角結膜炎	11	1.38	0.38	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	81	3.68	1.30	↔	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	259	11.77	6.97	→		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	4	0.18	0.11			マイコプラズマ肺炎	3	0.43	0.12	
	手足口病	13	0.59	0.16			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.14			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14	0.03	
	突発性発しん	5	0.23	0.19							

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	5	10歳未満・1人、40歳代・1人、60歳代・2人
5	急性脳炎	1	2	10歳未満
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	4	60歳代、80歳代
5	梅毒	3	8	20歳代・3人

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	インフルエンザ	新型コロナウイルス(COVID-19)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
報告数	第1週	335	148	1	45	27	60	7	3	-	1	-	-	1	14	-	-	1	-	-	-
	第2週	327	237	-	57	58	144	5	5	1	2	-	1	-	11	-	-	-	-	-	-
	第3週	473	401	2	50	65	247	11	4	-	2	1	-	-	13	1	-	-	-	-	-
	第4週	598	467	1	56	99	252	3	5	-	4	1	1	-	10	-	-	-	-	-	-
	第5週	909	557	7	53	81	259	4	13	-	5	1	1	-	11	-	-	3	-	-	1
定点当たり	第1週	9.31	4.11	0.04	1.96	1.17	2.61	0.30	0.13	-	0.04	-	-	0.13	1.75	-	-	0.14	-	-	-
	第2週	9.34	6.77	-	2.48	2.52	6.26	0.22	0.22	0.04	0.09	-	0.04	-	1.38	-	-	-	-	-	-
	第3週	13.14	11.14	0.09	2.17	2.83	10.74	0.48	0.17	-	0.09	0.04	-	-	1.63	0.14	-	-	-	-	-
	第4週	16.61	12.97	0.04	2.43	4.30	10.96	0.13	0.22	-	0.17	0.04	0.04	-	1.25	-	-	-	-	-	-
	第5週	25.97	15.91	0.32	2.41	3.68	11.77	0.18	0.59	-	0.23	0.05	0.05	-	1.38	-	-	0.43	-	-	0.14
全国	第3週	17.73	12.23	0.08	1.28	4.28	7.63	0.15	0.17	0.02	0.21	0.03	0.03	0.01	0.64	0.02	0.02	0.08	-	-	0.01
	第4週	19.20	14.93	0.11	1.24	4.35	7.60	0.13	0.20	0.02	0.20	0.03	0.03	0.01	0.59	0.01	0.02	0.07	-	-	0.02

■ 新たに判明した病原体検出状況

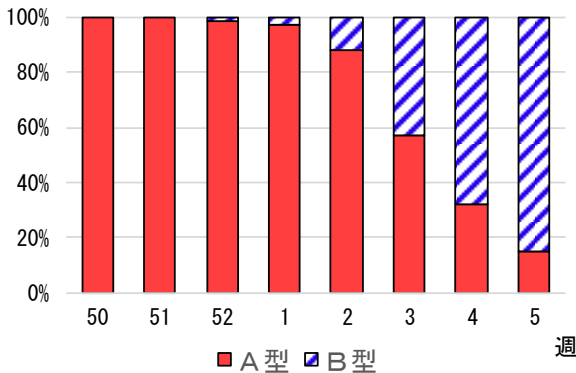
(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎、 その他の神経系疾患	発熱 嘔吐 脳炎 意識障害 熱性痙攣	7	2023/10/30	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス7型
手足口病	発熱(38.0℃) 発疹 水疱	1	2023/12/03	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA10型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市における今シーズンのインフルエンザウイルス検出状況

インフルエンザ迅速診断キット検査結果
(2023年第50週～2024年第5週)



市内2か所の協力医療機関における迅速診断キットの検査結果では、昨年第52週からB型陽性の割合が増加傾向となり、今週は85%(A型陽性24件、B型陽性135件)を占めていました。

また、広島市衛生研究所による遺伝子検査(注)では、今シーズンは、インフルエンザウイルスA(H3)型が3件、A(H1N1)2009型が4件、B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)が1件検出されています(第5週現在速報値)。

(注) 感染症発生動向調査における病原体定点において採取された検体を、広島市衛生研究所で検査したものです。

全国のインフルエンザウイルス分離・検出速報については、こちらをご覧ください。↓

「インフルエンザウイルス分離・検出速報」

(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr-inf.html>



新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の相談窓口

発熱時等の受診相談「受診案内・相談ダイヤル」

TEL 082-241-4566

(24時間対応)

療養者からの相談「療養者相談ダイヤル」

TEL 0570-000-510

(健康相談 24時間、一般相談 8:30~18:00)

「新型コロナウイルス感染症に関する情報」(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp